

の回目となる今回は、弊社が事務局を務めている日本カイロプラクティック純手医学会(中川貴雄会長、以下、徒手医学会)の学術大会で知り合ったボスター・セッションで熱い討論を繰り広げたお二人です。学会等の場で知り合いで、その輪がどんどん広がっていく「素晴らしいですね。それでは、前回の井上裕之先生が

お話を伺うところから、その輪がさらに広がっていき、「素晴らしいですね。それは、前回の井上裕之先生が

北川勇介(きたがわ・ゆうすけ)
愛知県生まれ。
1999年シオカワ・スクール入学、2001年卒業。

【今井治療室】
東京都江戸川区船堀3-7-1 今井ビル羽館
電話03-3675-4560



野球で肩を壊す
——カイロと出会ったきっかけは何だったんですか?
小学生の頃から野球を続けていたんですけど、高校のとき肩を壊したんです。肩は特にひどくて、大好きな野球を断念しそうと思ったらしく、でも野球を続けたいでした。でも野球を続けたい想いから鍼灸、整体、とにかくいろいろな治療を受けていました。

しかし、なかなか思うように

よくなるなくて、本当に野

球を諦めようかと思っていた

とき、名古屋の鈴木書寿先生

が、とても充実してて楽し

んでいたんです。そこで、2カ

年受けながら、高校、大学

などにも積極的に参加して、

最初は友だちと理学療法士

も少なく、大好きな野球を続

けることがで

きました。

——それからどういう

経緯でこの世

に生き残ったのが認

められたのかもしれません

が、あるとき東京・船堀にあ

りました。そこで、大学

で教職

を休んでいたときに

井上先生を紹介してもら

ったのです。

——その頃の特別な想い出

(以下AO)。

井上先生に会ったのが認

められたのかもしれません

が、井上先生が、徐々にAOの魅力に

取り憑かれ、卒業後は今井治

療室にそのままお世話になる

ことになりました。

——自分の将来を考えたとき

に、このまま

教師になれる

とは考えられ

ませんでし

た。それより

も高校の頃から憧れていた方

イロプラクターを目指そうと

思つたんです。それで、大学

4年のときの夏休みを利用して

、東京のいくつかのカイロ

の学校を見学に行き、その中

で一番自分に合った学校

で勉強することに決めまし

た。

——実際入学されてみて、ど

うでした?

——カイロと出会ったとき

に、このまま

井上先生を紹介してもら

ったのです。

——自分の将来を考えたとき

に、このまま

井上先生を紹介してもら

ったのです。

——独立は考えられない

でなければなりません。

——教育基準の統一願う

——今後どのように取り組

むことか?

——カイロに対する想いをお聞か

せいただけますか?

——カイロに対する